

## 熊本県学力・学習状況調査 結果概要

### 1 調査の概要

- (1)実施期間 令和元年(2019年)11月25日(月)～11月29日(金)
- (2)調査対象 市町村立小学校第3～6学年、中学校第1～2学年(各学年約9,000人)
- (3)調査事項 教科に関する学力調査【小学校】国語、算数 【中学校】国語、数学、英語  
質問紙調査【児童生徒用】学習習慣や生活習慣、友達や学校との関わり等  
【教師用】授業改善の状況等

小学校		中学校	
調査対象校数	調査対象児童概数	調査対象校数	調査対象生徒概数
248校	約36,000人	117校	約18,000人

### 2 教科に関する調査結果概要

※数値は、正答率(%)  
※全国は、同調査を受けた他県の結果を含めた参考値

学年	小学3年		小学4年		小学5年		小学6年		中学1年			中学2年		
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
熊本県	70.9	67.8	75.1	68.6	71.5	58.5	69.4	74.0	65.7	60.2	53.2	65.3	54.8	49.8
全国	72.4	70.4	75.4	68.5	72.8	60.6	69.2	73.9	67.2	60.9	56.4	68.2	57.6	55.4
標準スコア (全国を50)	49.3	48.7	49.8	50.1	49.2	49.0	50.1	50.1	49.2	49.7	48.4	48.5	48.9	47.4

正答率が全国平均以上だった項目は、小学4年の算数と小学6年の国語と算数である。

特に課題が見られた教科は英語で、全国平均を中学1年で約3ポイント、中学2年で約5ポイント下回った。また、課題が見られた学年は、小学3年、5年と中学2年である。

### 3 質問紙調査結果概要

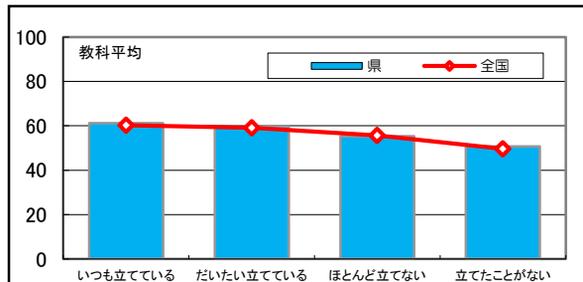
#### 児童生徒の学習に関する取組状況(質問紙調査)

- 家で「自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合  
※小3年及び4年は「1日のべんきょう時間はこれくらいと、めやすをきめていますか」についての結果(いつも+だいたい)

学年	R1年度
小3年	52.9%
小4年	51.5%
小5年	57.6%
小6年	▲59.5% (68.3%※H31年度全学調結果)
中1年	▲50.7% (85.3%※H30年度全学調結果)
中2年	▲44.6% (61.8%※H29年度全学調結果)

自分で計画を立てて勉強している割合は、全国学力・学習状況調査の小学6年段階の結果から下がっている。

- 「自分で計画を立てて勉強している」生徒と正答率の関係



- 教科の勉強が好きであると回答した児童生徒の割合  
(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

学年教科	R1年度	H30年度
小3国	▲67.6%	71.7%
小3算	▲76.6%	77.3%
小6国	▲58.3%	61.0%
小6算	▲65.2%	65.8%
中2国	▲56.4%	56.7%
中2数	53.2%	49.9%
中2英	50.1%	43.7%

教科の勉強が好きであると回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して小学校は減少、中学校は増加している。

左のグラフは、中学2年の生徒の「家で自分で計画を立てて勉強している」についての回答状況と教科の正答率との関係である。

肯定的な回答をした生徒ほど正答率が高い傾向にある。この関係は、他の学年でも同じ状況が見られる。

## 教師の授業改善に関する取組状況(学校教師質問紙調査)

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っている教員の割合  
(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

校種	R1年度	H30年度
小学校	92.9%	86.6%
中学校	90.0%	83.5%

昨年度に比べ、肯定的な回答が増加し、授業改善に関する取組の意識は高まっている。

- あなたは、授業に当たって、単元終了時の児童生徒の姿を具体的にイメージして指導を行っていますか。(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

校種	R1年度
小学校	93.3%
中学校	89.0%

「熊本の学び推進プラン」に示した熊本の授業づくりで大切にしていきたい項目の一つである「単元終了時の子供の姿」の設定に対する意識は高い。

## 教師の授業改善に関する取組状況と児童の学習に関する取組状況との比較

学校教師質問紙調査	児童生徒質問紙調査
あなたは、授業等に関わる児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。(よく行っている+どちらかといえば行っている)	先生はクラスのみんなのことを、ほめてくれますか(小学3・4年生) 先生はクラスのみんなのことを、ほめたり励ましたりしてくれますか(小学5年～中学2年) (とてもよくほめてくれる+まあまあほめてくれる)
小学校教師 98.1%	小学3年 83.4%、小学4年 85.9% 小学5年 83.5%、小学6年 83.9%
中学校教師 96.2%	中学1年 81.7% 中学2年 80.8%

学校教師質問紙調査	児童生徒質問紙調査
あなたの授業では、児童生徒の理解の状況や習熟の程度に応じて補充的な学習や発展的な学習を行うなど、個に応じた指導の充実が図られていますか。(よくしている+どちらかといえばしている)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいますか。(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)
小学校教師 88.9%	小学3年 86.0%、小学4年 87.8% 小学5年 86.0%、小学6年 88.9%
中学校教師 76.7%	中学1年 82.6% 中学2年 82.1%

学校教師質問紙調査	児童生徒質問紙調査
あなたは、日々の授業の中で、児童生徒が自分の思いや考えを書いたり、発表したり、また、児童生徒間で、問題解決の方法等について意見を交換する場を設けていますか。(よくしている+どちらかといえばしている)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)
小学校教師 94.8%	小3年 68.5%、小4年 66.5% 小5年 66.5%、小6年 68.9%
中学校教師 89.0%	中1年 69.5% 中2年 69.3%

同じ内容の質問項目を学校教師質問紙調査と児童生徒質問紙調査で比較すると、意識に違いがあった。特に、「ほめたり、励ましたりすること」については、小中学校ともに15%程度の差があり、「話し合い活動により、自分の考えを深めたり、広げたりする」については、小学校で30%程度、中学校で20%程度の差があった。